

1 がん対策に関する施策実施状況の概要

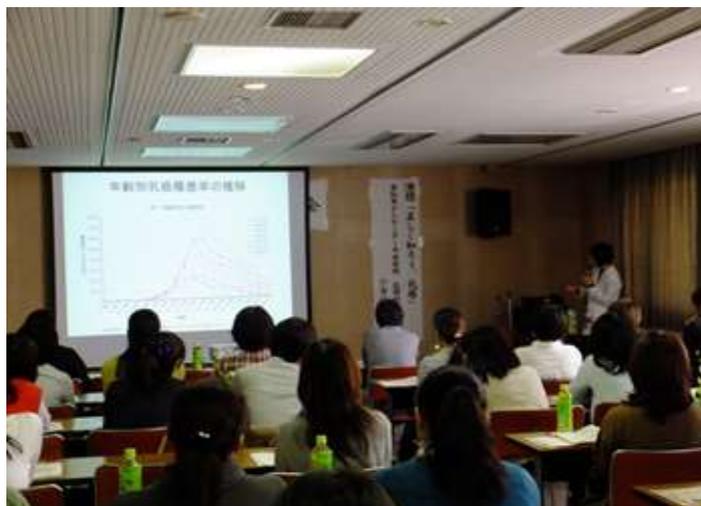
(1) 年齢・性・就労状況等に配慮したがん患者やその家族の方々の視点に立ったがん対策

① 女性特有のがんに係る対策

「女性特有のがん対策専門会議（平成 25 年度開催）」による提言を踏まえ、検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体（P T A、大学）等と連携したセミナー等の啓発活動や、女性が検診等を受診しやすくするための医療機関に関する情報を提供しました。

ア 乳がん予防推進連携講演会の開催

連携団体	日時・参加者
海部地区小中学校 P T A 連絡協議会	平成 28 年 10 月 26 日（火）、午後 2 時～午後 4 時 参加者：55 名
丹羽地区小中学校 P T A 連絡協議会	平成 28 年 11 月 14 日（月）、午前 10 時～正午 参加者：71 名



(乳がん予防推進連携講演会)

イ 医療機関の受診等に関する情報提供

県のホームページに、土日の診療状況、女性医師の配置状況、市町村がん検診の受託状況を取りまとめた医療機関情報を掲載しました（愛知県産婦人科医会に所属する 200 床未満の病院及び診療所で掲載を希望した 197 医療機関について、平成 28 年 8 月 10 日付けで掲載）。

② 働く世代へのがん対策

「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議（平成 25～26 年度開催）」による提言（平成 27 年 3 月）を踏まえ、働く世代のがん検診の受診率向上やがんに関しても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施しました。

ア 働く世代のがん対策講演会の開催

<第 1 回>（企業（ブラザー工業株式会社）との共催）

日 時：平成 28 年 12 月 20 日（火）午後 3 時 10 分から

場 所：ブラザー工業株式会社 瑞穂工場

内 容：がん疫学専門医及びがんサバイバーによる講演等

参加者：146 名（女性社員とその上司等）



<第 2 回>（全国健康保険協会愛知支部及び健康保険組合連合会愛知連合会との共催）

日 時：平成 29 年 3 月 2 日（木）午後 1 時 30 分から

場 所：名古屋市立大学桜山キャンパス 大ホール

内 容：がん専門医及び産業医による講演等

参加者：248 名（人事労務担当者等）

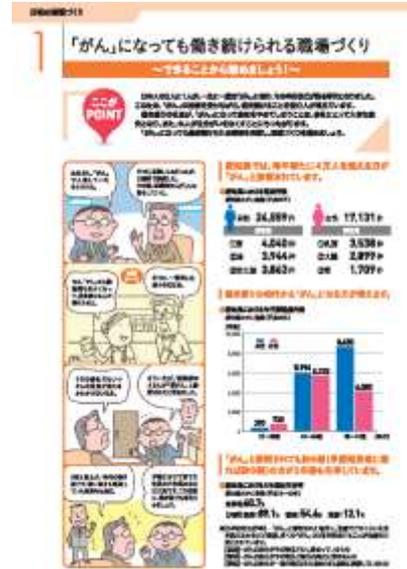


イ 「がん」患者の就労継続を支援するための「企業向けパンフレット」の作成・配布

企業における職場の環境づくりを進めるため、会社経営者や人事担当者向けのパンフレットを作成し、愛知県経営者協会の会員企業等へ配布しました。



(表面)



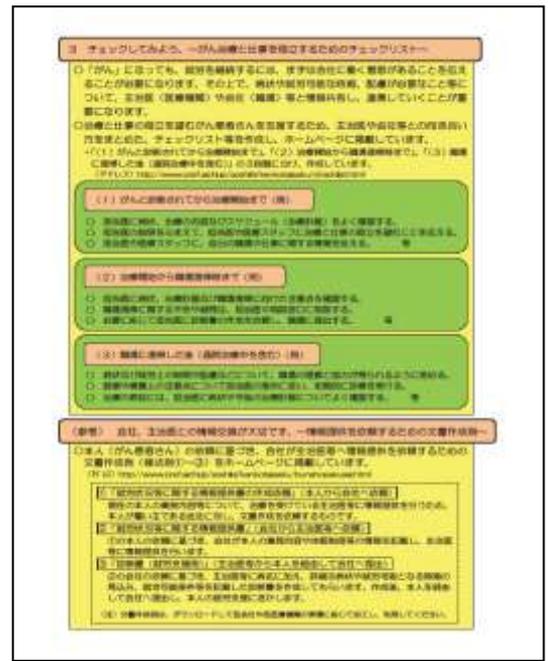
(中面)

ウ 「がん」になっても、すぐに仕事をやめず、相談を勧める「県民向けリーフレット」の作成

離職の判断は慎重にし、まずは相談することを勧めるため、県民向けのリーフレットを作成し、愛知県がん診療連携拠点病院等を通じて配布しました。



(表面)



(裏面)

③ 小児がん治療の連携体制の整備

ア 小児がんに関する診療体制等の調査

小児がん拠点病院（名古屋大学医学部附属病院）以外で小児がんの診療を一定数以上行っている病院における小児がんの診療体制や患者支援体制等を調査し、小児がん拠点病院や関係医療機関で情報共有しました。

調査対象：県内で小児がんの院内がん登録年間件数が10件以上の8病院

調査内容：小児がん医療提供体制（スタッフ配置状況、対応可能な治療）、診療実績、小児がん患者への教育支援体制、相談支援体制等

④ 小児がん患者の復学支援

ア 病気療養児の就学支援に関する研修会の開催

小児がん患者の復学支援のため、がん診療連携拠点病院の看護師等と院内学級や前籍校で病気療養児の教育に携わる教員による情報交換や事例検討を実施しました。

日 時：平成28年8月18日（木）午後1時から

場 所：ウインクあいち 1108 会議室

参加者：医療者9名

教員7名



⑤ がん患者・家族に対するピア・サポート

ア がん患者・家族に対する相談支援事業

がん患者支援活動を行っている団体に委託して、がん治療経験者による電話相談を実施しました。

委 託 先：特定非営利活動法人ミーネット

実施日数：60日、利用者数：112名

(2) 県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアを受けられる
がん対策の推進

① がん医療の充実のための取組

ア がん診療連携拠点病院の整備等

国が制度化しているがん診療連携拠点病院を国へ推薦し、指定を受けて地域におけるがん医療水準の向上とがん診療の連携強化を図っています。(17 病院)

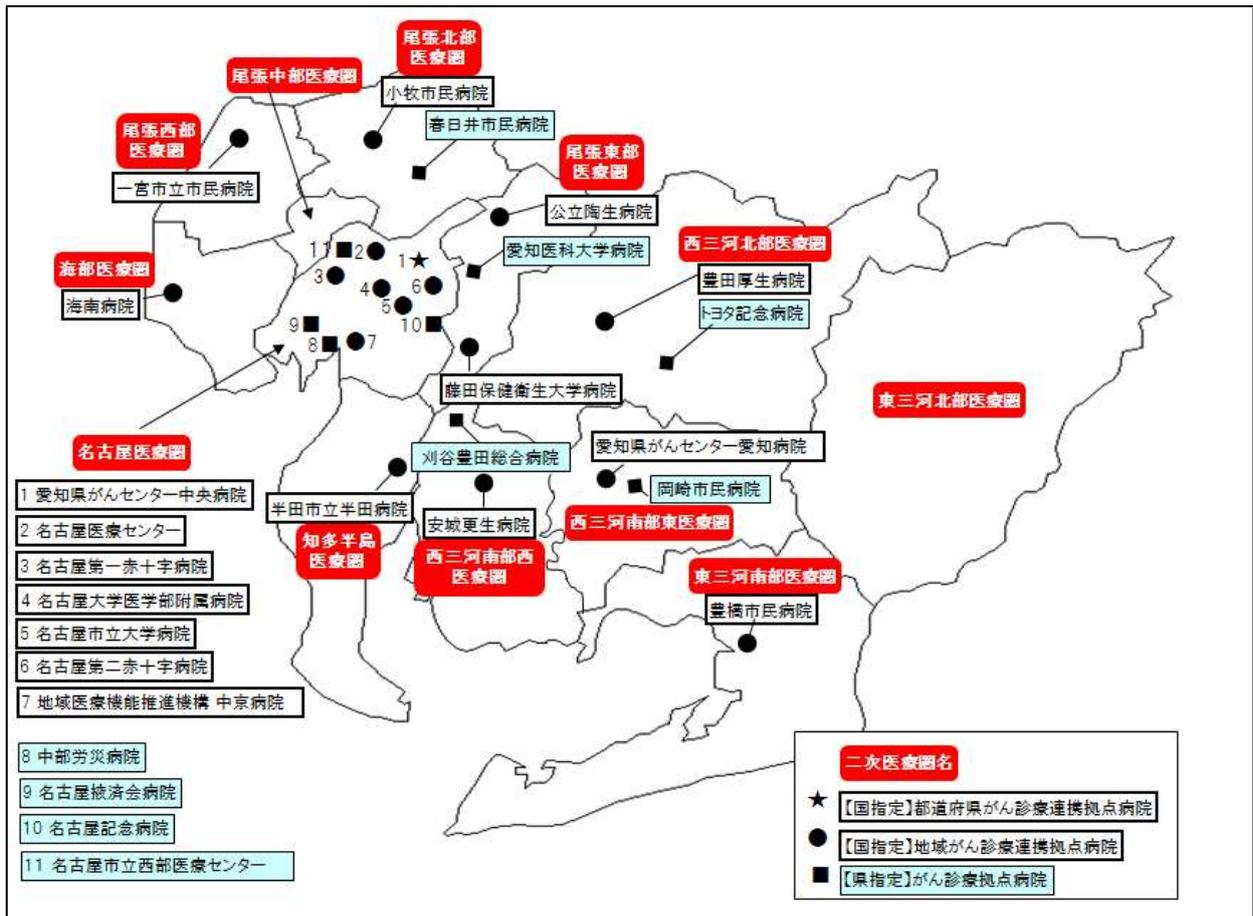
また、県独自に国指定制度に準じる要件をもって愛知県がん診療拠点病院を指定し、がん診療の体制強化を図っています。(9 病院)

拠点病院が有すべき機能、各病院の診療実績及び県計画の目標の達成状況について、平成 27 年度から国指定の拠点病院を、平成 28 年度から県指定の拠点病院を含めて、ホームページに掲載しています。

【掲載した情報】

- ・ 拠点病院の主な指定要件（診療機能、医療施設、人員配置等）に関する説明
- ・ がん診療連携拠点病院の診療実績（院内がん登録、手術、放射線治療、化学療法等の実績）
- ・ 愛知県がん対策推進計画(第2期)における目標数値としている診療報酬に係る施設基準（緩和ケア診療加算等）、医療従事者の配置（がん薬物療法専門医）等の達成状況

【愛知県内のがん診療連携拠点病院・がん診療拠点病院（平成29年4月1日現在）】



イ がん診療連携拠点病院に対する補助事業

がん診療連携拠点病院に対する補助事業を行って、がん相談支援事業や医療従事者に対する研修などの取組を促進しました。

【がん診療連携拠点病院等が実施する緩和ケア研修会の実績】

実施病院数：28 病院（開催回数：52 回）

受講者：1,294 名

② がん患者・家族に対する情報提供

ア がん相談支援センターにおける相談状況の県 HP への掲載（平成 26 年度から）
県のホームページに、従来から掲載してきたがん相談支援センターの一覧に加えて、相談支援センターの役割を県民の皆様に一層分かりやすくお伝えするため、相談内容別の相談件数や病院別の相談件数を掲載しています。

イ がん患者支援を行う団体の県 HP への掲載（平成 25 年度から）

がん患者・家族の方々に対する支援を行う団体の情報を提供し、がん患者さんの療養生活の質の向上に資するため、「愛知県がん患者支援団体ホームページ等掲載要領」を制定し、届出のあった団体を県ホームページに掲載しています。

(3) がんの正しい知識の普及啓発・教育を通じて、がんの予防・早期発見を進める
がん対策の推進

① がん予防の啓発

たばこの健康への影響に関する知識普及について、街頭啓発や県ホームページでの各種情報の提供等により実施しました。



② がんの早期発見に関する取組

ア がん検診受診の啓発

検診の受診率向上のため、10月の啓発強化月間を中心に啓発ポスターの配布、街頭啓発等の啓発活動を実施しました。

(啓発ポスター)

イ がん検診精度管理委員会の開催

市町村がん検診の精度向上のため、がん検診の実施結果の分析及び要改善事項等を検討し、市町村に対する技術的助言を実施しました。

ウ 市町村がん検診担当者研修会の開催

市町村のがん検診担当者を対象に精度向上のための取組手法等を説明する研修会を開催しました。

日 時：平成 28 年 7 月 4 日（月）

午後 1 時 30 分から

場 所：県庁内会議室

内 容：胃がん検診・肺がん検診の精度管理のポイント、胃内視鏡検査の留意事項等

参加者：56 名



エ がん検診従事者講習会の開催

検診機関等においてがん検診に従事する者の資質向上のため、がん検診従事者講習会を開催しました。

内 容：細胞診従事者講習会始め 4 講習会

受講者：174 名

③ がん教育の充実のための取組

ア 中学生に対するがん教育出前講座の開催

中学生ががんに関する正しい知識を学び、予防のため適切な生活習慣を身につけ実践等できるよう、出前講座を実施しました。

<第 1 回>

日 時：平成 28 年 6 月 28 日（火）午後 2 時 30 分から

場 所：犬山市立東部中学校

参加者：108 名（3 年生）

<第 2 回>

日 時：平成 28 年 6 月 30 日（木）

午後 1 時 45 分から

場 所：尾張旭市立西中学校

参加者：246 名（3 年生）



<第3回>

日 時：平成 28 年 11 月 18 日（金）午後 3 時から

場 所：蟹江町立蟹江北中学校

参加者：120 名（2 年生）

<第4回>

日 時：平成 28 年 11 月 1 日（火）

午後 2 時 25 分から

場 所：豊明市立沓掛中学校

参加者：223 名（2 年生）



<第5回>

日 時：平成 28 年 11 月 22 日（火）午前 11 時 35 分から

場 所：豊明市立豊明中学校

参加者：610 名（全学年）

<第6回>

日 時：平成 28 年 12 月 15 日（木）午後 3 時 15 分から

場 所：弥富市立十四山中学校

参加者：52 名（2 年生）

イ 中学校教諭を対象としたがん教育研修会の開催

日 時：平成 28 年 8 月 22 日（月）午後 2 時から

場 所：愛知県西三河総合庁舎

内 容：保健体育教諭等が中学生にがん教育を行うことができるよう、必要な知識や教材（授業等で活用できるパワーポイント資料・リーフレット）の解説等を行いました。

参加者：92 名



ウ 中学生向け「がん教育リーフレット」の県HPへの掲載

中学校の保健体育の教科学習等において活用していただく目的で作成した「がん教育リーフレット」及び教員向けの指導参考用解説書を県のホームページへ掲載し、周知しました。

愛知の中学生向け「がん教育リーフレット」

がんについて学ぼう！

皆さんは、がんについてどんなイメージを持っていますか？また、知っていることはありますか？学習の前に自由に書いてみましょう。

1. 「がん」はどんな病気？

現在日本では、年間約38万人ががんで亡くなっており、死亡原因の第1位となっています。愛知県でも、昭和55年(1980年)以降、がんは専ら死亡原因の第1位です。日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなるといわれており、**がんは私たちに近づく身近な病気**です。

【死亡の原因(全国)】

【愛知県の死因別死亡率の推移】

【がんができる仕組みを知ろう！】

私たちの体は、多くの細胞からできています。細胞は毎日細胞分裂をして、新しい細胞を作っていますが、細胞の遺伝子に傷がつき、異常な細胞ができることがあります【細胞のミスコピー】。

がん細胞ができて、免疫細胞ががん細胞を食べてくれますが、免疫細胞に見逃されたがん細胞が増え続けるとがんになります。

「がん」は、できた細胞にとどまらず、体の正常な部分や血管の中に入り込み、広がっていきます【転移】。

細胞のミスコピーは経年の体でおこるので、経年でもがんになる可能性があります。

【主ながんについて知ろう！】

がんは、一般的には発生した細胞や組織による分類などから名称が決まります。日本人に多いがんは、下の図に示すがんです。また、右の円グラフに示すように、**男女によって、かかる人が多いがんは異なります。**

【男性の専ら罹患割合】

【女性の専ら罹患割合】

【がんの原因を知ろう！】

○がんになりやすい年齢
人間は老化すると、細胞のミスコピーを起こしやすくなるため、多くのがんは、40歳代から多くなり、年齢が上がるにつれて増えていきます。ただし、若い世代が全くならないわけではありません。

○がんになるリスクを高める原因
がんの研究が進み、がんになるリスクを高める原因が科学的に証明されるようになっていきます。でも、**がんが発生する原因はひとつではなく、さまざまな原因が長い年月にわたって累積している**と考えられています。

①生活習慣
喫煙、多量の飲酒、運動不足【大腸がん】、塩分の多量摂取【胃がん】など
※喫煙と多量の飲酒は、多くのがんの原因となります。
特に、たばこの「肺がん」への影響は大きく、たばこを吸う人のがんになる確率は、吸わない人に比べ、男性で約4倍、女性で約2倍高まります。

②細菌・ウイルスの感染
ヘリコバクターピロリ菌【胃がん】
ヒトパピローマウイルス【子宮頸がん】
B型肝炎、C型肝炎ウイルス【肝臓がん】

③発がん性の物質
放射線、アスベストなど

④遺伝性のがん
部位によって異なりますが、全体のがんの1%～5%程度、遺伝性のがんがあることが分かっています。

(がん教育リーフレット)

(4) がんの研究等を踏まえたがん対策の推進

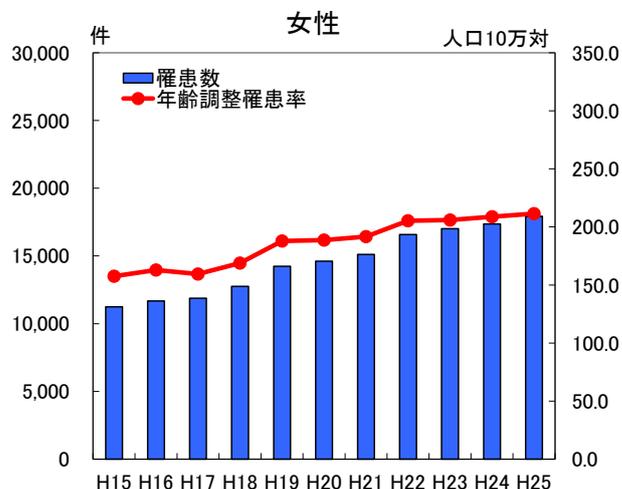
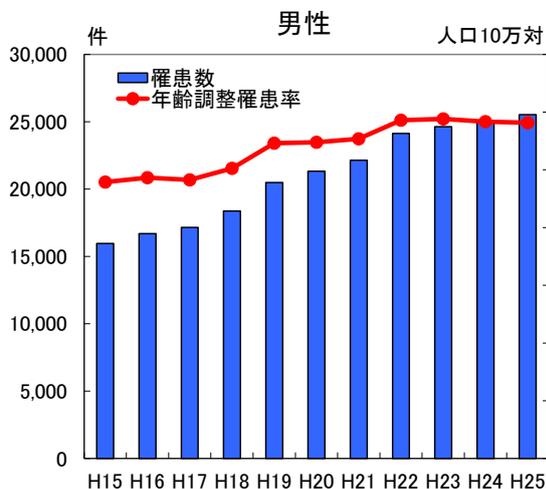
① がん罹患状況等の把握、分析

ア 地域がん登録事業

県民のがん罹患状況を把握する地域がん登録を引き続き実施し、平成25年分のがん罹患データを算出・公表しました。平成25年に愛知県在住で新たにがんと診断された数は43,444件(延べ件数:男性25,518件、女性17,926件)となりました。

■がん罹患数・罹患率の推移（平成15年から平成25年）

がん罹患数は、引き続き増加傾向にあります。近年は増加傾向が鈍化しています。



■部位別・年齢階級別罹患率（人口10万対、平成25年罹患分）

年齢階級別に罹患率を見ると、男性では各部位とも40代後半から急激に増加していき、70代前半までは胃がん、大腸がん及び肺がんがほぼ同じような罹患率となり、70代後半からは肺がんが最も高くなっています。女性では60代までは乳がんの罹患率が最も高いですが、70歳以上では大腸がんの罹患率が最も高くなっています。

